

Weekly Global Economy

米国 今週発表予定の経済指標等の見通し

発表日：06年10月23日(月)

～7-9月期の実質GDPが減速するも国内最終需要は加速し米国景気の堅調さが確認される見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dri.dai-ichi-life.co.jp)

当面の経済指標等の予測

：FOMCでは政策金利が据え置かれ、声明文もほぼ変更されない見込み

日時(日本時間)		単位	予測	コンセンサス	前月
2006/10/24 23:00	10月 リッチモンド ⁺ 連銀製造業指数		7.5	--	9.0
2006/10/25 6:00	週間 ABC消費者信頼感指数		-6.0	--	-7.0
2006/10/25 20:00	週間 MBA住宅ローン申請指数		-0.5%	--	-2.2%
2006/10/25 23:00	9月 中古住宅販売件数	百万戸	6.25	6.24	6.30
2006/10/26 3:15	FOMC		5.25%	5.25%	5.25%
2006/10/26 21:30	9月 耐久財受注	前月比	1.8%	1.6%	-0.5%
2006/10/26 21:30	9月 耐久財(除輸送用機器)	前月比	1.1%	1.0%	-2.0%
2006/10/26 21:30	週間 新規失業保険申請件数	千件	315	312	299
2006/10/26 21:30	週間 失業保険継続受給者数	千件	2440	--	2453
2006/10/26 22:00	NY連銀総裁、日本経済に関する講演				
2006/10/26 23:00	9月 新築住宅販売件数	千戸	1045	1050	1050
2006/10/26 23:00	9月 求人広告指数		30	31	31
2006/10/27 1:20	クロスナーFRB理事、世界銀行で講演				
2006/10/27 5:10	ミネアポリス連銀総裁、世界銀行で講演				
2006/10/27 21:30	3Q 実質GDP(前期比年率)	前期比年率	2.4%	2.1%	2.6%
2006/10/27 21:30	3Q GDP価格指数(前期比)	前期比年率	2.8%	2.9%	3.3%
2006/10/27 22:45	10月 ミシガン大学消費者センチメント		92.6	92.5	92.3

(出所) コンセンサスはBloomberg調べ、予測は筆者。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

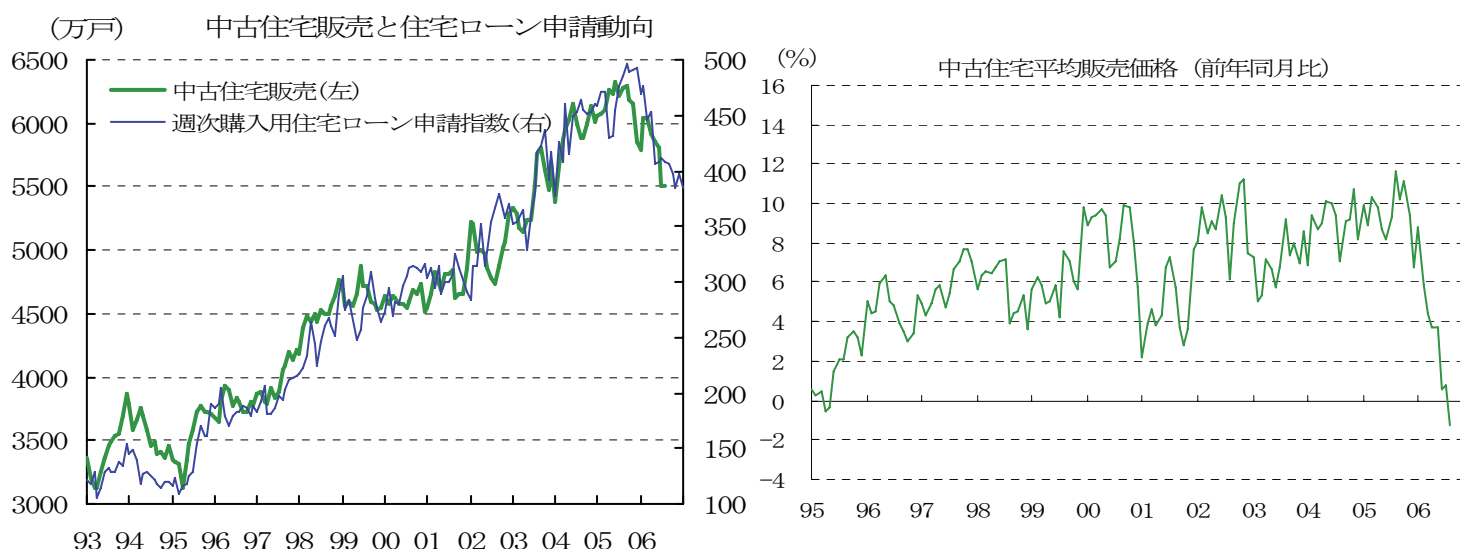
●10月25日

・9月中古住宅販売件数は、販売価格が下落していること、住宅購入用ローン申請件数が緩やかなペースで減少していること等から、625万戸と前月から小幅減少にとどまると予想される。中古住宅販売価格は安い物件への需要シフトもあり下落傾向を辿ると見込まれる。

住宅関連指標の動向

	中古住宅販売		中古住宅販売価格		中古住宅 在庫率	モーゲージ 購入指数	モーゲージ 金利	住宅市場 指数	住宅着工	住宅着工			
	コンドミニアム	一戸建て	中間	平均						一戸建て	2～4戸	5戸以上	
06/01	6570	781	5790	+12.6	+8.8	5.3	+1.6	6.10	57	2265	1814	27	424
06/02	6900	852	6050	+10.4	+5.8	5.2	▲10.2	6.23	56	2132	1812	35	285
06/03	6900	862	6040	+7.8	+4.4	5.6	+0.2	6.38	54	1972	1615	36	321
06/04	6750	836	5910	+4.3	+3.7	6.1	+1.1	6.54	51	1832	1524	56	252
06/05	6710	852	5860	+5.9	+3.7	6.4	▲0.8	6.64	46	1953	1587	51	315
06/06	6600	796	5800	+0.5	+0.6	6.8	▲0.8	6.72	42	1833	1478	44	311
06/07	6330	822	5510	+1.4	+0.7	7.3	▲2.1	6.71	39	1760	1445	83	232
06/08	6300	793	5510	▲1.7	▲1.2	7.5	▲3.2	6.41	33	1674	1367	41	266
06/09							+3.3	6.28	30				

(注) 単位は住宅販売が千戸、その他は%。



(出所) 米商務省、住宅ローン銀行協会、全米不動産業者協会

・10月24、25日のFOMCでは、政策金利は据え置かれ、声明文も前回とほぼ変わらないと見込まれる。ページブックでは、景気の緩やかな減速が続いていること、インフレのさらなる加速が回避されていることが確認されている。加えて、足下で期待インフレ率が低位で安定していることから、10月24、25日のFOMCでは政策金利の据え置きが予想される。声明文では景気・インフレリスクの見方は前回9月20日のものとほぼ同じ内容となりサプライズはないとみられる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

前回 9 月 20 日の声明文

●景気について

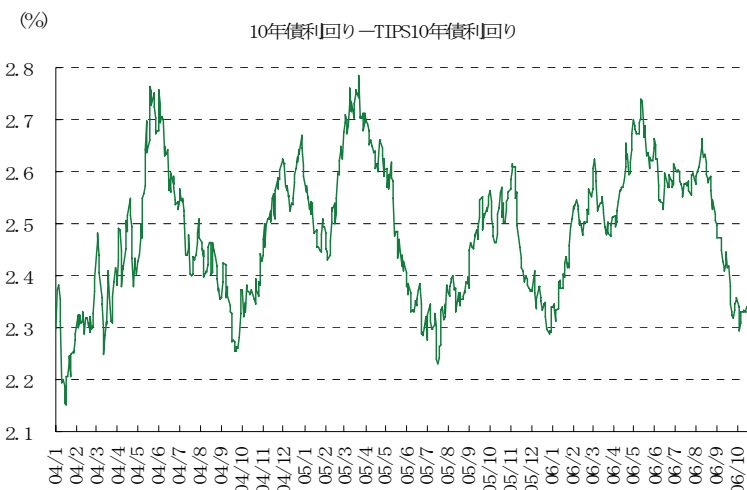
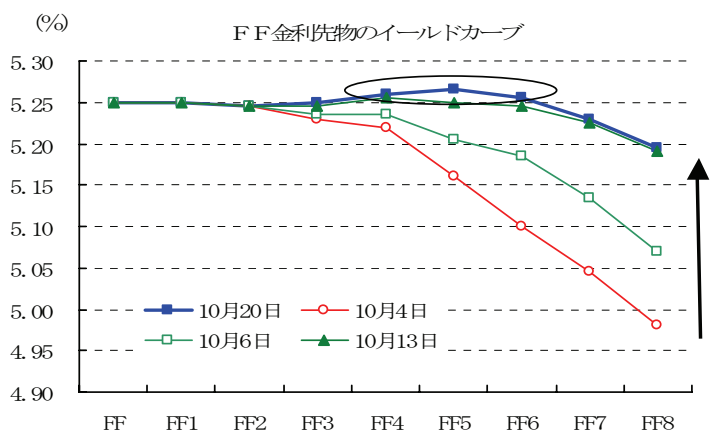
“住宅市場の鈍化を映じて成長ペースの減速が持続しているようである”

●物価について

“コアインフレは水準を上げてきた。そして、高水準の資源利用と、高水準のエネルギー価格や他の商品価格は、インフレ圧力を維持する可能性がある。しかしながら、エネルギー価格からの影響低下、穏やかなインフレ期待、金融政策の累積的な効果、総需要を抑制する他の要因を反映して、インフレ圧力は恐らく時間とともに緩和するよう見える”

●先行きの金融政策について

“それにもかかわらず、委員会はインフレリスクが一部残存すると判断した。こうしたリスクを是正するため、追加的な引き締めが必要となるかもしれないが、その程度と時期については、これから明らかになる情報に基づくインフレと経済の見通しの変化に依存する”



●10月26日

・ 9 月 耐久財受注は航空機受注の増加を受け、前月比+1.8%と増加に転じると予想される。輸送機器を除く耐久財受注は、素材関連での価格下落の影響もあり同+1.1%にとどまると見込まれる。

航空機を除く非国防資本財出荷は、好調な投資需要を背景にプラス基調を維持する公算が大きい。

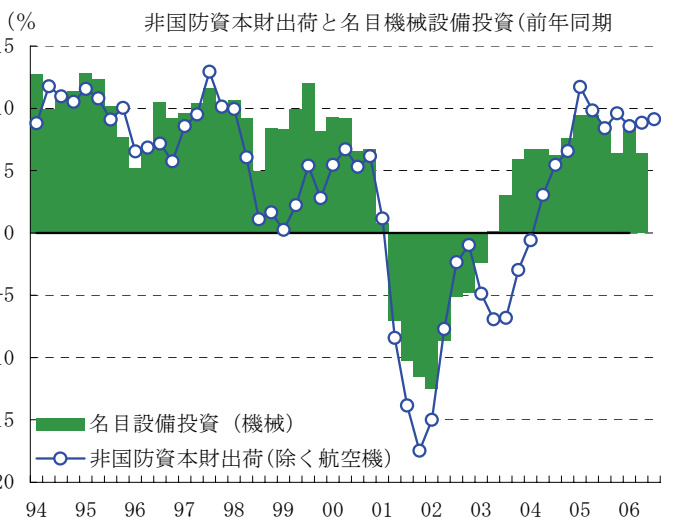
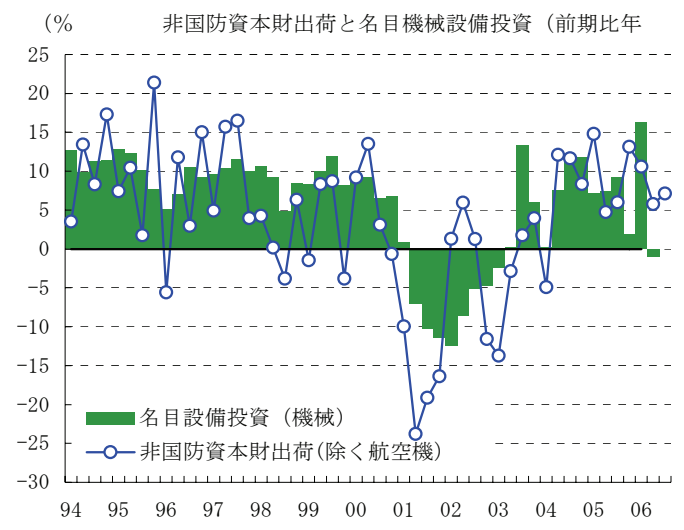
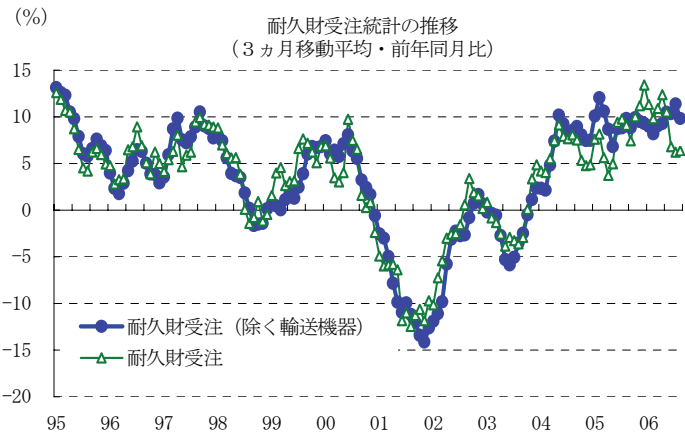
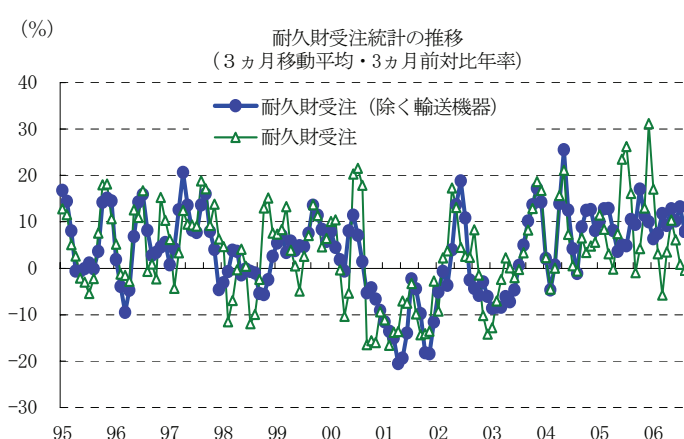
耐久財受注 (Advance Report on Durable Goods Manufacturers' Shipments and Orders)

	出荷				受注				在庫		
	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器	非国防資本財 除く輸送機器
05/2Q	+0.9	+0.7	(+7.9)	+1.2	+5.4	+1.2	(+5.0)	+1.6	▲0.3	▲0.1	+0.0
05/3Q	+1.2	+1.4	(+6.3)	+1.5	▲0.2	+2.3	(+9.5)	+1.5	+0.4	+0.5	+1.9
05/4Q	+3.7	+3.4	(+7.9)	+3.1	+7.0	+2.4	(+10.0)	+2.4	+1.1	+0.9	+0.3
06/1Q	+1.2	+2.8	(+8.5)	+2.5	▲1.5	+2.8	(+11.7)	+3.9	+0.9	+1.5	+1.5
06/2Q	+1.1	+1.3	(+9.1)	+1.4	+1.5	+2.5	(+10.2)	+0.9	+2.8	+2.6	+1.4
06/01	▲1.3	+1.1	(+7.9)	+1.1	▲7.6	+1.9	(+9.5)	+2.1	+0.4	+0.8	+0.7
06/02	+0.3	+0.3	(+9.2)	▲0.9	+3.6	▲1.2	(+7.1)	▲1.0	▲0.5	▲0.3	+0.1
06/03	+0.3	▲0.2	(+8.4)	+2.0	+6.0	+3.4	(+10.5)	+3.4	+1.0	+1.0	+0.7
06/04	▲1.2	▲0.3	(+7.7)	+0.4	▲4.7	▲1.0	(+10.3)	▲2.1	+1.2	+1.1	+0.8
06/05	+3.0	+2.2	(+9.4)	+0.0	+0.3	+1.6	(+10.8)	+1.3	+0.7	+0.7	▲0.0
06/06	+0.2	+0.6	(+10.2)	▲0.2	+3.3	+1.8	(+10.0)	+0.9	+0.9	+0.7	+0.6
06/07	▲1.3	+0.3	(+10.8)	+1.5	▲2.8	▲0.1	(+13.4)	+0.6	+1.1	+1.1	+0.9
06/08	+2.1	+0.8	(+9.4)	+0.7	▲0.0	▲1.5	(+6.2)	+0.4	+0.3	+0.7	+0.6

(出所) 商務省

(注) 四半期は前期比、月次は前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



・ 9月の新築住宅販売件数は、購入用住宅ローン申請件数は10月第2週にかけて減少傾向を辿るなど、住宅販売の減少トレンドが続く中で前月に増加したこともあり小幅下落しよう。

住宅関連指標の動向

	住宅販売(1戸建て)		平均住宅販売価格		新築住宅 在庫率	中古住宅 在庫率	モーゲージ 購入指数	モーゲージ 金利	住宅市場 指数	住宅着工			住宅許可		
	新築	中古	新築	中古						一戸建て	2~4戸	5戸以上			
06/01	6963	1173	5790	+6.4	+8.8	5.3	5.3	+1.6	6.10	57	2265	1814	27	424	2195
06/02	7088	1038	6050	+6.5	+5.8	6.4	5.2	▲10.2	6.23	56	2132	1812	35	285	2147
06/03	7161	1121	6040	+3.2	+4.4	6.1	5.6	+0.2	6.38	54	1972	1615	36	321	2085
06/04	7031	1121	5910	+7.3	+3.7	6.2	6.1	+1.1	6.54	51	1832	1524	56	252	1973
06/05	6961	1101	5860	+2.3	+3.7	6.2	6.4	▲0.8	6.64	46	1953	1587	51	315	1946
06/06	6891	1091	5800	+9.4	+0.6	6.3	6.8	▲0.8	6.72	42	1833	1478	44	311	1869
06/07	6519	1009	5510	+8.6	+0.7	7.0	7.3	▲2.1	6.71	39	1760	1445	83	232	1763
06/08	6560	1050	5510	+3.2	▲1.2	6.6	7.5	▲3.2	6.41	33	1674	1367	41	266	1727
06/09								+3.3	6.28	30	1772	1426	32	314	1619
06/10								▲3.3	6.30	31					

(注) 単位は住宅販売が千戸、その他は%

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

●10月26日

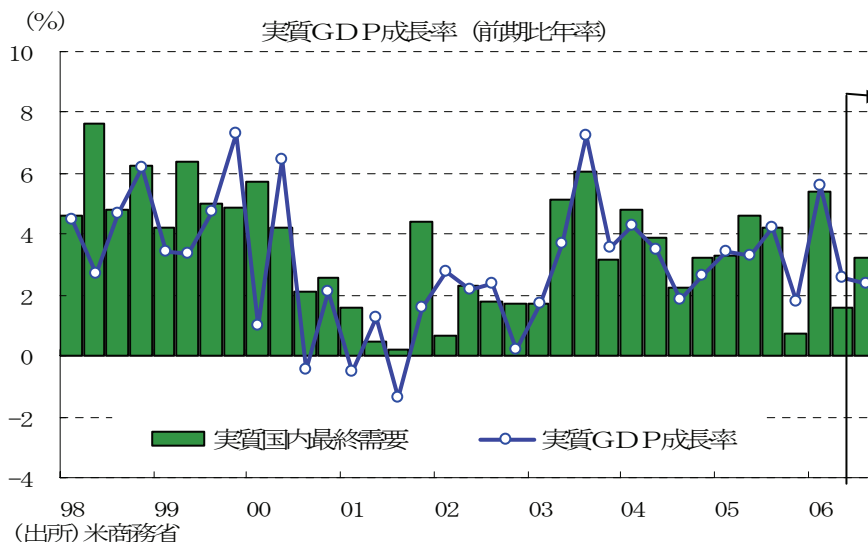
・7～9月期の実質GDP成長率は、前期比年率+2.4%と4～6月期の同+2.6%から小幅減速が見込まれる。個人消費、設備投資、政府支出が加速するものの、住宅投資の縮小に加えて、純輸出、在庫投資のマイナス寄与が予想される。もっとも、実質国内最終需要は前期比年率+3.2%と4～6月期の同+1.6%から加速し、米国景気が堅調さを維持していることが確認されよう。

実質GDP (Gross Domestic Product)

	実質GDP							名目GDP		GDP デフレーター	
	個人消費	住宅投資	設備投資	在庫投資	政府支出	純輸出	輸出	輸入			
2000	+3.7	+4.7	+0.8	+8.7	(▲0.13)	+2.1	(▲0.88)	+8.7	+13.1	+5.9	+2.2
2001	+0.8	+2.5	+0.4	▲4.2	(▲0.90)	+3.4	(▲0.20)	▲5.4	▲2.7	+3.2	+2.4
2002	+1.6	+2.7	+4.8	▲9.2	(+0.43)	+4.4	(▲0.69)	▲2.3	+3.4	+3.4	+1.7
2003	+2.7	+2.9	+8.4	+1.3	(+0.05)	+2.8	(▲0.46)	+1.8	+4.6	+4.8	+2.0
2004	+3.9	+3.8	+10.1	+7.1	(+0.36)	+1.7	(▲0.73)	+8.6	+10.5	+6.9	+2.6
2005	+3.0	+3.4	+8.4	+5.3	(▲0.31)	+0.7	(▲0.73)	+6.9	+5.8	+6.2	+2.8
05/1Q	+3.4	+2.7	+11.1	+6.0	(+0.29)	+1.6	(▲0.40)	+4.7	+4.1	+7.0	+3.0
05/2Q	+3.3	+4.2	+19.9	+5.1	(▲2.14)	+1.1	(+1.11)	+9.4	+1.4	+5.8	+2.6
05/3Q	+4.2	+3.9	+7.1	+5.9	(▲0.43)	+3.4	(▲0.05)	+3.2	+2.5	+7.6	+3.3
05/4Q	+1.8	+0.8	▲1.0	+5.2	(+2.04)	▲1.1	(▲1.04)	+9.6	+13.2	+5.1	+3.3
06/1Q	+5.6	+4.8	▲0.3	+13.7	(▲0.08)	+4.9	(+0.00)	+14.0	+9.1	+9.0	+3.3
06/2Q	+2.6	+2.6	▲11.1	+4.4	(+0.44)	+0.8	(+0.44)	+6.2	+1.4	+5.9	+3.3
予測 06/3Q	+2.4	+3.3	▲16.3	+12.2	(▲0.44)	+3.5	(▲0.53)	+4.7	+6.4	+5.2	+2.8

(出所) 商務省(Department of Commerce)、予測は当社。

(注) 数字は前期比年率伸び率。但しカッコ内は対実質GDP寄与度(前期比年率ベース)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

・10月のミシガン大学消費者信頼感指数は速報の調査以降も、ガソリン価格の下落、株高が続いたことを背景に、速報の92.3から92.6に上方改定される見込み。

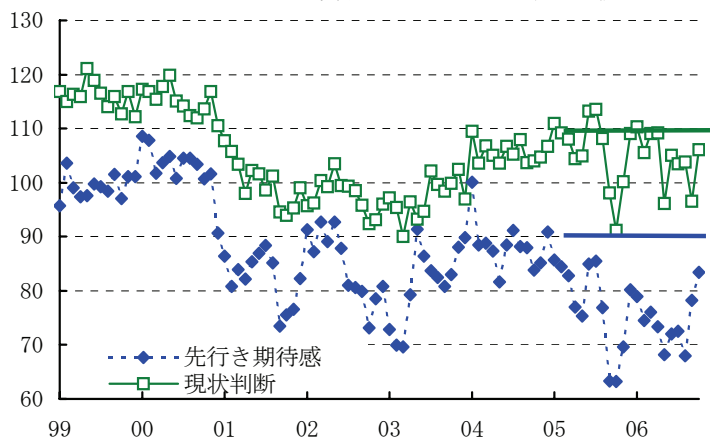
消費者信頼感 (Consumer Confidence)

	消費者信頼感指数		消費者信頼感 (Consumer Confidence)						ミシガン大学消費マインド		
		期待指数	現状指数	雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		期待	現状
				充分	困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅		
06/01	106.8	92.1	128.8	27.0	20.3	17.9	10.5	6.7	3.0	91.2	110.3
06/02	102.7	84.2	130.3	27.4	20.2	16.2	10.9	7.1	3.4	86.7	105.6
06/03	107.5	90.3	133.3	28.3	20.4	17.8	9.8	5.8	4.1	88.9	109.1
06/04	109.8	92.3	136.2	29.4	19.7	17.3	9.3	6.8	3.1	87.4	109.2
06/05	104.7	85.1	134.1	29.1	20.2	16.5	12.9	6.3	2.9	79.1	96.1
06/06	105.4	87.5	132.2	28.0	20.0	16.8	11.9	5.5	3.2	84.9	105.0
06/07	107.0	88.9	134.2	28.6	19.6	16.1	10.9	6.9	3.8	84.7	103.5
06/08	100.2	84.4	123.9	24.5	21.1	16.2	12.9	6.9	3.8	82.0	103.8
06/09	104.5	89.0	127.7	25.9	21.3	16.3	10.6	6.1	2.8	85.4	96.6
06/10										92.3	106.1

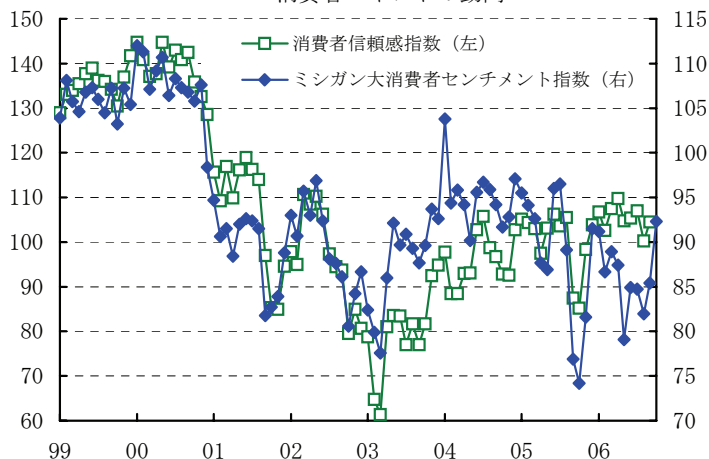
(出所) The Conference Board, University of Michigan

(注) 「雇用判断」、「半年後の景況感」、「購入計画」の単位は%で、全体に占める割合を指す。

ミシガン大消費者センチメント指数の推移



消費者マインドの動向



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

＜日本・海外経済＞月間スケジュール (06年10月～12月)

10月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10/2 9月日銀短観(8:50) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00) 8月毎月勤労統計(10:30) (米)8月建設支出 (米)9月ISM製造業指数 (欧)9月製造業PMI	3 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)9月自動車販売台数	4 (米)8月製造業受注 (米)9月ISM非製造業指数	5 10年物価連動国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	6 8月消費状況調査(14:00) 8月景気動向指数(14:00) (米)9月雇用統計 (米)8月消費者信用残高
9	10 8月機械受注(14:00) ※9月景気ウオッチャー (米)8月卸売在庫 (米)9月財政収支	11	12 9月マネーサプライ(8:50) 8月国際収支(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) 9月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～13日) 5年利付国債 (米)8月貿易収支 (米)ページブック	13 9月企業物価(8:50) 8月鉱工業指数・確(13:30) 8月商業販売統計・確(13:30) 10月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※10月月例経済報告 (米)9月輸入物価 (米)9月小売売上高 (米)8月企業在庫
16 (米)10月NY連銀製造業指数	17 8月第3次産業活動指数(8:50) 9月交易条件(8:50) 30年利付国債 (米)9月生産者物価 (米)9月鉱工業生産 (米)10月NAHB住宅市場指数	18 8月毎月勤労統計・確(10:30) 8月景気動向指数改訂(14:00) 8月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合議事要旨(9月7・8日分) (米)9月消費者物価 (米)9月住宅着工件数	19 10月ロイター短観(8:30) (米)9月景気先行指数 (米)10月フィラ連銀指数	20 8月全産業活動指数(8:50) (英)7-9月期実質GDP
23 ※(韓国)7-9月期実質GDP	24 20年利付国債 (米)10月リッチメント連銀指数 ※(独)10月Ifo景況感指数 (中国)7-9月期実質GDP	25 ※9月貿易統計(8:50) (米)9月中古住宅販売件数 (米)FOMC	26 9月CSPI(8:50) ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 2年利付国債 (米)9月耐久財受注 (米)9月新築住宅販売件数 (米)9月求人広告指数	27 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月商業販売統計(8:50) (米)7-9月期GDP(速) (米)10月ミシガン大センチ(確)
30 9月鉱工業生産(8:50) (米)9月個人所得・消費	31 9月労働力調査(8:30) 9月家計調査(8:30) 9月職業紹介状況(8:30) 9月毎月勤労統計(10:30) 夏季賞与同時公表 ※9月住宅着工統計(14:00) 10月BOJ展望レポート 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)7-9月期雇用コスト指数 (米)10月消費者信頼感 (米)10月シカゴPMI (欧)10月消費者物価(速)	11/1 (米)9月建設支出 (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売台数 (欧)10月製造業PMI	2 (米)7-9月期労働生産性 (米)9月製造業受注 (欧)ECB理事会	3 (米)10月雇用統計 (米)10月ISM非製造業指数

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

11月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<p>30</p> <p>9月鉱工業生産(8:50)</p> <p>(米)9月個人所得・消費</p>	<p>31</p> <p>9月家計調査(8:30)</p> <p>9月労働力調査(8:30)</p> <p>9月職業紹介状況(8:30)</p> <p>9月毎月勤労統計(10:30)</p> <p>夏季賞与同時公表</p> <p>9月住宅着工統計(14:00)</p> <p>金融政策決定会合</p> <p>10月BOJ展望レポート(15:00)</p> <p>日銀総裁定例記者会見(15:30)</p> <p>(米)7~9月期雇用コスト指数</p> <p>(米)10月消費者信頼感</p> <p>(米)10月シカゴPMI</p> <p>(欧)10月消費者物価(速)</p>	<p>11/1</p> <p>10月自動車販売(14:00)</p> <p>10月軽自動車販売(14:00)</p> <p>(米)9月建設支出</p> <p>(米)10月ISM製造業指数</p> <p>(米)10月自動車販売台数</p> <p>(欧)10月製造業PMI</p>	<p>2</p> <p>10月マネタリーベース(8:50)</p> <p>9月消費状況調査(14:00)</p> <p>(米)7-9月期労働生産性</p> <p>(米)9月製造業受注</p> <p>(欧)ECB理事会</p>	<p>3</p> <p>(米)10月雇用統計</p> <p>(米)10月ISM非製造業指数</p>
<p>6</p>	<p>7</p> <p>10年利付国債</p> <p>(米)9月消費者信用残高</p>	<p>8</p> <p>9月景気動向指数(14:00)</p>	<p>9</p> <p>10月マネーサプライ(8:50)</p> <p>10月貸出・資金吸収(8:50)</p> <p>10月景気ウォッチャー</p> <p>(米)9月貿易収支</p> <p>(米)10月輸入物価</p> <p>(米)11月ミンガン大センチ(速)</p> <p>(米)9月卸売在庫</p> <p>(英)BOE金融政策委員会</p>	<p>10</p> <p>9月機械受注(14:00)</p> <p>10~12月期機械受注見通し</p> <p>※10月消費動向調査(14:00)</p>
<p>13</p> <p>9月国際収支(8:50)</p> <p>10月企業物価(8:50)</p> <p>9月鉱工業指数・確(13:30)</p> <p>9月商業販売統計・確(13:30)</p> <p>(米)10月財政収支</p> <p>* (インドネシア)7~9月期実質GDP</p>	<p>14</p> <p>7~9月期GDP速報(8:50)</p> <p>5年利付国債</p> <p>(米)10月生産者物価</p> <p>(米)10月小売売上高</p> <p>(米)9月企業在庫</p> <p>(欧)7~9月期実質GDP</p> <p>(独)7~9月期実質GDP</p>	<p>15</p> <p>9月第3次産業活動指数(8:50)</p> <p>10月交易条件(8:50)</p> <p>金融政策決定会合(～16日)</p> <p>(米)11月NY連銀製造業指数</p> <p>(英)インフレーションレポート</p>	<p>16</p> <p>9月毎月勤労統計・確(10:30)</p> <p>9月景気動向指数改訂(14:00)</p> <p>11月金融経済月報(15:00)</p> <p>日銀総裁定例記者会見(15:30)</p> <p>15年変動利付国債</p> <p>※11月月例経済報告</p> <p>(米)10月消費者物価</p> <p>(米)10月鉱工業生産</p> <p>(米)11月NAHB住宅市場指数</p> <p>(米)11月フィラ連銀指数</p> <p>(欧)10月消費者物価</p>	<p>17</p> <p>※06年9月市街地価格指数(10:00)</p> <p>9月建設総合統計(14:00)</p> <p>(米)10月住宅着工件数</p>
<p>20</p> <p>(米)10月景気先行指数</p>	<p>21</p> <p>金融政策決定会合議事要旨(10月12・13日分)</p> <p>20年利付国債</p> <p>(仏)7~9月期実質GDP</p> <p>(香港)7~9月期実質GDP</p>	<p>22</p> <p>9月全産業活動指数(8:50)</p> <p>※10月貿易統計(8:50)</p>	<p>23</p>	<p>24</p> <p>* (独)11月Ifo景況感指数</p> <p>(台湾)7~9月期実質GDP</p> <p>(マレーシア)7~9月期実質GDP</p>
<p>27</p> <p>10月CSPI(8:50)</p>	<p>28</p> <p>10月商業販売統計(8:50)</p> <p>2年利付国債</p> <p>(米)10月耐久財受注</p> <p>(米)10月中古住宅販売件数</p> <p>(米)11月リッチモンド連銀指数</p> <p>(米)11月消費者信頼感</p>	<p>29</p> <p>10月鉱工業生産(8:50)</p> <p>(米)7~9月期実質GDP</p> <p>(米)10月新築住宅販売件数</p> <p>(米)ページブック</p> <p>(フィリピン)7~9月期実質GDP</p>	<p>30</p> <p>11月ロイター短観(8:30)</p> <p>10月住宅着工統計(14:00)</p> <p>(米)10月個人所得・消費</p> <p>(米)10月求人広告指数</p> <p>(米)11月シカゴPMI</p> <p>(インド)7~9月期実質GDP</p>	<p>12/1</p> <p>10月消費者物価・全(8:30)</p> <p>11月消費者物価・都(8:30)</p> <p>10月労働力調査(8:30)</p> <p>10月家計調査(8:30)</p> <p>10月職業紹介状況(8:30)</p> <p>11月自動車販売(14:00)</p> <p>11月軽自動車販売(14:00)</p> <p>(米)10月建設支出</p> <p>(米)11月ISM製造業指数</p> <p>(米)11月自動車販売台数</p> <p>(欧)11月製造業PMI</p>

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

12月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
27 10月CSPI(8:50)	28 10月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)10月耐久財受注 (米)10月中古住宅販売件数 (米)11月リッチメント連銀指数 (米)11月消費者信頼感	29 10月鉱工業生産(8:50) (米)7~9月期実質GDP (米)10月新築住宅販売件数 (米)ページブック (米)7~9月期実質GDP (フィリピン)7~9月期実質GDP	30 11月ロイター短観(8:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)10月個人所得・消費 (米)10月求人広告指数 (米)11月シカゴPMI (インド)7~9月期実質GDP	12/1 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月職業紹介状況(8:30) 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) (米)10月建設支出 (米)11月ISM製造業指数 (米)11月自動車販売台数 (欧)11月製造業PMI
4 7~9月期法人企業統計(8:50) 11月マネタリーベース(8:50) 10月毎月勤労統計(10:30) (タイ)7~9月期実質GDP	5 10月消費状況調査(14:00) 10年利付国債	6 10月景気動向指数(14:00) (豪)7~9月期実質GDP	7 10年物価連動国債 (米)10月消費者信用残高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	8 7~9月期GDP2次速報(8:50) 11月マネーサプライ(8:50) 11月貸出・資金吸収(8:50) 11月景気ウォッチャー (米)11月雇用統計 (米)11月ミンガン大センチ(速)
11 10月機械受注(14:00) 11月消費動向調査(14:00) (米)10月卸売在庫	12 11月企業物価(8:50) 5年利付国債 (米)FOMC (米)10月貿易収支 (米)11月財政収支	13 10月国際収支(8:50) 10月鉱工業指数・確(13:30) 10月商業販売統計・確(13:30) (米)11月小売売上高 (米)10月企業在庫	14 11月交易条件(8:50) (米)11月輸入物価	15 12月日銀短観(8:50) 10月第3次産業活動指数(8:50) 10月毎月勤労統計・確(10:30) 10月景気動向指数改訂(14:00) (米)11月消費者物価 (米)12月NY連銀製造業指数 (米)11月鉱工業生産
18 7~9月期資金循環(8:50) 12月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 10月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(～19日) ※12月月例経済報告 (米)12月NAHB住宅市場指数	19 12月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 20年利付国債 (米)11月生産者物価 (米)11月住宅着工件数	20	21 12月ロイター短観(8:30) 10月全産業活動指数(8:50) ※11月貿易統計(8:50) 2年利付国債 (米)7~9月期GDP(最終値) (米)11月景気先行指数 (米)12月フィラ連銀指数	22 金融政策決定会合議事要旨 (10月31日、11月15・16日分) (米)11月個人所得・消費 (米)11月耐久財受注 (米)11月ミンガン大センチ(確)
25 10~12月法人企業景気予測調 査(8:50)	26 11月消費者物価・全(8:30) 12月消費者物価・都(8:30) 11月労働力調査(8:30) 11月家計調査(8:30) 11月職業紹介状況(8:30) 11月CSPI(8:50)	27 ※11月商業販売統計(8:50) (米)11月新築住宅販売件数	28 11月鉱工業生産(8:50) 11月毎月勤労統計(10:30) 11月消費状況調査(14:00) ※11月住宅着工統計(14:00) (米)12月消費者信頼感 (米)12月シカゴPMI	29 (米)11月求人広告指数

(※)印は期日が未定のもの

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。